

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

1. 学校概要

学校名 愛媛県 新居浜市立川東中学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫教育
☒ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☐ 高等学校
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ()

所在地 〒792-0884
愛媛県新居浜市神郷二丁目4番1号

E-mail kwhj-ad@esnet.ed.jp

Website http://kawahigashi-j.esnet.ed.jp/

児童生徒数 男子 285 名 女子 265 名 合計 550 名
 児童・生徒の年齢 13 歳～15 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☐ 国際理解
- ☐ 世界遺産
- ☒ 平和・人権
- ☒ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☐ エネルギー
- ☒ 防災
- ☐ 食育
- ☒ 伝統文化
- ☐ そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

ア 持続発展教育（ESD）について

テーマ	地域の暮らしを見つめ、地域や社会の一員としてよりよく生きる	分野	地域の文化に関する学習 環境に関する学習 防災に関する学習 福祉に関する学習
概要	本校では、平成15年度より、総合的な学習の時間に鈴木敏恵氏の「未来教育 プロジェクト学習」を導入している。名称を「プロジェクト21」とし、1年生は「地域の文化 発見プロジェクト」（地域の史跡、方言、食など）、2年生は「地域の環境保全プロジェクト」（水資源、エネルギー、ゴミ問題など）、3年生は「命を守るプロジェクト」（防災、福祉）をテーマに学習に取り組んでいる。		
目的	<p>「プロジェクト21」で育てようとする資質や能力及び態度は以下の通りである。</p> <p>(1) 学習方法 現代社会の中から課題を設定し、課題を解決するために必要な情報を収集する。情報を多角的に分析し、学習や生活に生かそうとする。</p> <p>(2) 自分自身 自らの生活を見直し、課題解決に向けて計画的に行動する。自分の夢や希望を叶えられるように日常的に実践する。</p> <p>(3) 他者や社会 周囲の人たちの考えを尊重し、地域に受け継がれてきた伝統を継承とする態度を育成する。</p>		
実施計画	<p>全校テーマ 「地域の暮らしを見つめ、地域や社会の一員としてよりよく生きる」</p> <p>1年：学年テーマ「暮らしの中の文化【地域の文化、発見プロジェクト！】」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の産業 ・ 地域の言葉・地域の遊びの文化 ・ 地域の食文化 ・ 地域の歴史 <p>〈ねらい〉 地域に古くから受け継がれている伝統や文化のもつ特徴について調べ、それらを継承しよりよく発展させていこうとする態度を養う。</p> <p>2年：学年テーマ「環境【地域の環境保全プロジェクト】」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水資源 ・ エネルギー ・ 地球温暖化対策 ・ ごみ処理 ・ リサイクル ・ 緑化 <p>〈ねらい〉 地域の環境問題に目を向け、自分たちの生活とのかかわりを調べ、環境の保全のために意欲的に活動しようとする態度を養う。</p> <p>3年：学年テーマ「防災と福祉【命を守るプロジェクト】」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南海地震 ・ 点字 ・ 盲導犬 ・ 手話 ・ 高齢者福祉 ・ ボランティア活動 <p>〈ねらい〉 地域の防災や福祉の問題についての理解を深め、すべての人の命を守るために積極的に活動しようとする態度を養う。</p>		
使用する教材	関連書籍、関連ウェブサイト、関連新聞記事 など		
評価方法	毎時間の自己評価を積み重ね、ポートフォリオに蓄積する。学習の最後には相互評価も行い、お互いの成長を確認する。		

イ 主な活動の内容について … 3 年の活動の一部紹介

【3 年 福祉施設講座「お元気配達プロジェクト」】

(ねらい)

地域の高齢者の方々との交流を通して、地域活性化のための礎を作る。

(活動の実際)

(ア) 介護士への聞き取り学習

高齢者福祉施設への訪問に向けて介護士の方にお越しいただき、高齢者福祉施設の実態や介護士という仕事についての話を聞いた。生徒から質問事項を話し合いの中から選択し、予想される質問事項として、事前にケアセンターの担当者に渡しておいた。その段取りのおかげで、当日はスムーズに会を進行することができ、大変有意義なものになった。

協力していただいたはびねすケアセンターからは、部長さん（看護師）と副主任さん（介護士）がお見えになりそれぞれの立場から生の現場の声をお聞きすることができた。

(イ) 高齢者擬似体験

高齢者の方々の生活の実態や高齢による身体の衰えを知ることが高齢者理解につながると考え、高齢者擬似体験を行った。新居浜市総合福祉センターに協力を仰ぎ、高齢者擬似体験キットをお借りした。視野を制限するゴーグルや関節の可動区域を制限するリストバンドなど、普段の生活に支障をきたす状況を意図的に作り、体験させるキットだった。

移動の際のわずかな段差でも歩行にかなりの労力があることや、普段は意識せずに持ち運んでいたものの、移動に苦勞することを体感し、介助の必要性や方法を学ぶことができた。

(ウ) 高齢者福祉施設訪問

午後から、はびねすケアセンターへ訪問した 4 つのグループに分かれ、ユニットごとに交流活動を行った。一つのユニットに 10 名程度の利用者の方々がおり、生徒たちは、持ち寄ったトランプやあやとり、折り紙などをしながら、高齢者の方々との会話を楽しんだ。

当日は偶然、お誕生日会が行われており、事前に練習しておいた歌を披露した。手拍子などで温かく迎えてくれ、生徒にとっても、高齢者の方々にとっても有意義なものとなった。その後、入浴設備など、施設内の見学をさせていただいた。

(活動の成果)

高齢者擬似体験やインターネットでの調べ学習そして、介護士と看護師からの聞き取り学習という事前学習が高齢者福祉施設訪問に十分に生かされていた。本講座を希望した生徒の中には、保護者が介護士であったり、将来介護士を目指す者もいたりするなかで、大変意欲的な活動が見られた。

今後も、施設との交流を切らすことなく、学校と地域とのつながりを大切にしながら活動が続けていくことが、地域活性化への土台を作ることにつながる。持続可能な社会づくりに欠かすことのできない人と人とのつながりを大切にしていきたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- ☒ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- ☐ 時間外活動の時間を使用
- ☐ ユネスコクラブの活動として実施
- ☐ その他（

）